

7月の原料費調整額

原料費調整額は、+41.54円（税抜）です。

令和8年8月度検針分の原料費調整額 （基準原料価格との増減）

$$\begin{aligned} & \text{原料費調整額(円/} \text{m}^3 \cdot \text{税抜)} \\ & = (118,970(\text{円/t}) - 98,950(\text{円/t})) \div 1,000 \div 0.482 \\ & = 41.54(\text{円/} \text{m}^3 \cdot \text{税抜}) \end{aligned}$$

燃料費調整額の算出について

従量料金への 適用	当月合成CP /前月MB(\$/t)	為替レート TTS(円/\$)	当月原料価格 (円/t)	基準原料価格 (円/t)	原料費調整額 税抜(円/m ³)
令和7年7月	合成CP575 /前月MB390	145.54	91,720	98,950	-15.00
令和7年8月	合成CP520 /前月MB368	147.74	88,230	98,950	-22.24
令和7年9月	合成CP520 /前月MB347	148.71	84,940	98,950	-29.06
令和7年10月	合成CP507.5 /前月MB356	148.99	83,970	98,950	-31.08
令和7年11月	合成CP485 /前月MB332	152.30	81,800	98,950	-35.58
令和7年12月	合成CP485 /前月MB308	156.20	82,990	98,950	-33.11
令和8年1月	合成CP510 /前月MB336	156.95	87,300	98,950	-24.17
令和8年2月	合成CP535 /前月MB322	157.78	89,900	98,950	-18.78
令和8年3月	合成CP545 /前月MB317	156.13	90,930	98,950	-16.64
令和8年4月	合成CP647.5 /前月MB394	159.68	113,860	98,950	+30.93
令和8年5月	合成CP750 /前月MB401	160.33	127,790	98,950	+59.83
令和8年6月	合成CP755 /前月MB428	159.38	129,300	98,950	+62.97
令和8年7月	合成CP670 /前月MB390	161.77	118,970	98,950	+41.54

液化石油ガス市況調査

（令和8年4月末現在）

4月単独集計/単位:円(税込)

ガス使用料	5m ³	10m ³	20m ³	50m ³
当社平均	5,105	8,193	13,954	29,950
三重平均	5,475	8,819	15,175	32,344
全国平均	5,707	9,281	16,074	34,913

（資料）石油情報センターHPより
（財）日本エネルギー経済研究所

「原料費調整制度」の概要

弊社では「ガス料金の透明化」を目的として、すでに都市ガス会社、電力会社や一部のLPガス会社でも採用され、幅広くお客様に知られている「原料費調整制度」を平成27年3月度検針分より導入しております。

①原料費調整制度とは

毎月値動きを伴うLPガス輸入価格(合成CP価格)と為替レート(TTS)の変動を「速やかにガス料金に反映させるしくみ」です。

②原料費調整額を算出する仕組み

弊社の原料費調整額は、以下の算式に基づいて算出しております。

$$\text{原料費調整額 (円 / m}^3\text{・税抜)} = (\text{原料価格} - \text{基準原料価格}) \div 1,000 \div 0.482$$

◎原料価格(円/t): 当月合成CP×為替レート(TTS)

◎基準原料価格(円/t): 令和6年11月の原料価格98,950円

$$\text{令和6年11月のCP価格 \$425/t 為替レート(TTS) ¥119.78/\$}$$

◎0.482: 重量単位(kg)から体積単位(m³)に変換するための産気率

◎LPガス輸出価格(CP、\$/t): 中東LPガス指標価格(コントラクトプライス: CP価格)

◎LPガス輸出価格(MB、\$/t): 米国LPガス指標価格(モンテルビュー価格: MB価格)

◎為替レート(TTS、円/\$): CP採用月の前月21日～当月20日の対顧客電信売相場の平均値

③原料価格

$$\text{原料価格} = \{\text{合成CP} \times 70\% + (\text{前月MB} + \text{調達経費}) \times 30\% \} \times \text{TTS} + \text{フレート価格}$$

◎合成CP: 前月と当月のCPの平均値

◎調達経費: 米国から輸出するための費用

◎フレート: タンカーでの輸送費用

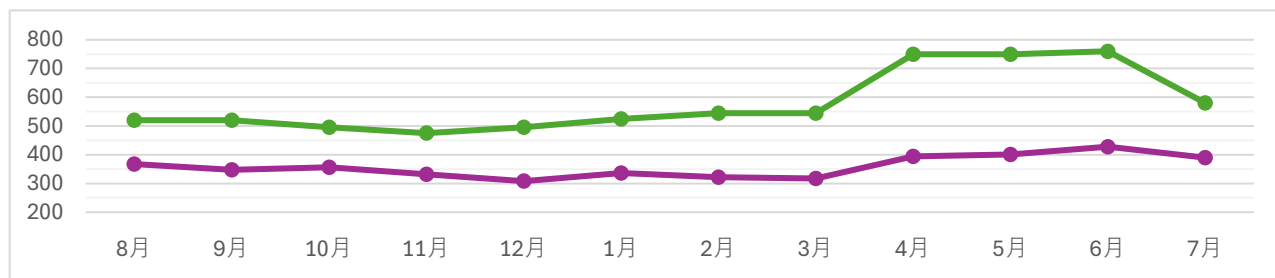
④調整頻度および調整単価

調整は毎月行い、調整額が小数点第二位以下の場合は切捨てし、請求時の1円以下は四捨五入となります。

原料費調整額算出データ

R7 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	R8 6月	7月
520 CP(\$/t)	520	495	475	495	525	545	545	750	750	760	580
368 MB(\$/t)	347	356	332	308	336	322	317	394	401	428	390
147.74 TTS(円/\$)	148.71	148.99	152.3	156.2	156.95	157.78	156.13	159.68	160.33	159.38	161.77

合成CP ● MB ● (\$/t)



TTS(円/\$)

